

# 神奈川施保連ニュース

発行人神奈川県知的障害者施設保護者会連合会 会長 大矢 武久  
ホームページ <http://w01.tp1.jp/~a368318200/>



福祉の後退を許さないをテーマに

## 全国知的障害者施設家族会連合会

### 神戸での全国大会の報告

10月23日～24日、全国知的障害者施設家族会連合会(全施連)主催の第14回全国大会が、神戸のシーサイドホテル舞子ビラで開催されました。

全国から、保護者会、施設関係者等約600名、神奈川からは一般参加を含め19名が参加しました。

#### 一日目(23日)

来賓・会長挨拶に続いて、厚生労働省の障害福祉専門官片桐公彦氏による、障害保健衛生施策の動向について講演があり、報酬改訂では、障害児通所施設(放課後デイサービス)と日中サービス支援型(グループホーム)などにメリハリをつけた報酬改訂が行われたとの説明がありました。その後、兵庫県明石市市長泉房穂氏による記念講演がありました。市長も4歳年下の弟さんが障害をもっており、小学校時代苦労されたこと。

現在、明石市の市長となり、所得制限を設けず、子供を核とした街づくりをしている。それによ

り、明石市の人口が増え、税収も増えて好循環を実現していることなどの紹介がありました。

お金が無いから福祉は後回しにするのは間違い、と強調されたことは大変勇気付けられました。障害があろうと、小さい子供がいようと、当たり前に出かけられる街作りをしたいとの考えで、国とは別に、合理的配慮の公的助成制度を設け、だれでもが暮らしやすい街への取り組みが話されました。

#### 二日目(24日)

「どうする?家族と我が子らの高齢化」をテーマに全員参加型討論が行われ、2施設長及び2保護

者会長から報告がありました。高齢化に関しての課題では、

1. 日中活動と生活空間の見直し、全員作業や作業内容の見直し、作業に代わる日中活動の充実、建物の暖房設備の整備。
2. 身体的な老化 介護的な支援・医療的付添いの限界、施設での最低限度の医療的ケアの充実。

が提起されることも、これからは介護施設でも障害者がいることを前提とした、設備や人材配置に変えていかなければならないことなどが報告されました。

さらに会場からの発言も多く、神奈川から参加された2名からも成年後見制度などについての厳しい批判も出て、大変有意義な場となりました。

コーディネーターの宗澤准教授からは、国の障害者施策は、こまごまとした報酬改訂に終始して、障害のある人の暮らしはこれからどうなるのかの姿が見えてこない。「我がこと丸ごと」施策で進めようとしているのは障害福祉制度を介護保険制度に組み込ませ、公共的サービスを削り、利益を望む企業などが参入し易い仕

組みを作ろうとしていると厳しく批判していました。

また、コーディネーターの小賀久教授からは、障害者施設の新しい具体像を明示した提言を出版物という形で準備していることが報告されました。

最後に、「障害福祉制度と介護保険の一体化、統合の廃止」「生活保護費以下の障害基礎年金の引き上げ」「福祉職の専門化としての施設職員の育成」などを、国及び行政に働きかけることを決議して、大会を終りました。



シーサイドホテル舞子ビラ神戸  
平成30年10月23日～24日

リレー投稿

中井やまゆり会の紹介

中井やまゆり会 副会長 藤田 隆夫

中井やまゆり園は、中井町にある県立県営の知的障害者支援施設で、百名余りの入所者の支援を主として短期入所や自立訓練などのサービスを提供するほか、県の発達障害支援センターとして各種相談等の業務も行なっています。

園の入所者は重度の障害者がほとんどで、身体障害も有する者、自閉症など強度行動障害を有する者、高齢者など各々の障害特性により男女別7つの居所(寮と呼ぶ)に分かれて入所生活を送っています。

当会は中井やまゆり園家族会として発足し、2015年に中井やまゆり会と改称して現在に至り、入所者の家族や後見人を会員として運営されています。役員は各寮から1名ずつ選出され計7名で構成されています。

当会では8月を除く毎月第3土曜日に定期連絡会を開き、役員会や園からの報告や連絡、質

疑応答のあと各寮に分かれ懇談会が行われ意見や要望等が出され、午後に開催される役員会へ報告されます。役員会ではそのほか様々な事項を検討します。会員の意見や要望等は色々な形で園にも伝えます。定例会にあわせ講演会等の啓発活動を行うこともあります。



また5月には総会として前年度活動報告・決算、当年度活動方針・予算の審議、ときには規約改正など重要事項の審議もします。

また毎月第1日曜日には、ボランティア活動として会員10名20名の参加・協力を得て、園内各所の清掃や車いすの補修等を行って行っています。

園の最大の季節行事として10月にやまゆり祭が開催され、当会は園職員や園外ボランティアの協力をも得てバザーを行って行っています。その他に七夕茶会、8月の夏祭り(盆踊り、花火等)、クリスマス会など入所者が楽しみにしている諸行事への活動支援も行なっています。

2015年の改称の際には別組織として「ききょう会」が発足し、契約に基づく入所者の年金等の金銭管理をきちんと行なう体制を整えました。こうして入所者や会員への事務的な面での支援も以前と同様に行なわれています。

当会でも会員の高齢化が進行しつつあり、色々な事情で会の活動に参加しづらい人も増えていて、役員の選出に苦慮することも多くなりました。毎月

期連絡会や寮別の懇談会は意見交換の場として重要ですが、参加できない人も多く、そうした会員のためにも、そしてもちろん入所者本人のためにも当会の活動を如何に維持し活性化するか、頭を悩ませています。

以上

障害を持つ人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川施保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをした時、また、そのために入院した時などに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

一般財団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会  
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内  
TEL:045-314-7716 FAX045-324-0426